

四月号塾だより

編集

山口将志
大崎拓己

中村貴弘

今月号のトピックス

- ・春期講習の日程
- ・公立高校入試結果
- ・新講師 中村より
- ・高校入試の変わり目

春期講習の日程

☆3月27日（金）から4月7日（火）は春期講習期間です。

☆3月21日（土）から26日（水）は休塾です。補習等もございませんのでお気を付けてください。

☆春期講習中は、中学生の通常授業はありません。

☆講習科目登録書をまだ提出されていない方は、講習初日にお持ちください。

☆春期講習中、小学生は授業の日時が変わります。

3月27日（金）	計算教室14：00～15：00 英語教室15：10～16：10
3月28日（土）	英語音読14：00～15：00 国語教室15：10～16：10
3月31日（火）	計算教室14：00～15：00 英語教室15：10～16：10
4月 1日（水）	英語音読14：00～15：00 国語教室15：10～16：10

2026年度公立高校入試 結果

本年度の高校入試、全員が第一志望合格とはなりませんでしたが、全員が最後まで努力を重ねてくれました。卒業生たちの努力の結果をお伝えします。

川越	3名
所沢北（普通）	2名
浦和西	1名
川越南	5名
所沢	1名
市立川越（普通）	2名
松山（普通）	1名
坂戸（普通）	1名
松山女子	2名
所沢西	1名
朝霞	2名
豊岡	2名
芸術総合（映像芸術）	1名
朝霞西	1名
坂戸西	2名
川越西	1名
大宮科学技術（建築デザイン工学）	1名
川越総合	2名
川越工業（建築）	1名
川越工業（デザイン）	1名
川越工業（化学）	1名
日高	2名
狭山工業（機械）	1名

新講師 中村より

はじめまして！ 3月からお世話になります中村貴宏（たかひろ）と申します。英語を中心に指導してまいりますので、よろしくお願いいたします。せっかくの機会なので、各学年へのメッセージをお送りしたいと思えます。

<小学生>

小学校の英語でノートを書いたり問題を解いたりすることはあまりないと思えます。中学校に進学し、そのような勉強が始まったときに戸惑わないように、基本的な英文法と英単語を楽しく学べるクラスにしたいと思えます。

<新中1>

現在の中1の教科書は以前と比べて難しく、分量も多くなっています。be動詞や一般動詞といった基本事項から始めて基礎を確実に習得できるようにします。また、英語の発音についても授業中も練習していきます。

<新中2>

中1から引き続き、基本的な英文法と英単語を学習していきます。中3に向けて準備の1年間でもあるため、問題を正確に読み解いて点数をきちんと取る練習もしていきます。

<新中3>

クラスに応じて、学校選択問題、学力検査問題、どちらも指導していきます。長文を速く正確に読む方法、リスニングのコツ、英作文の書き方など全て指導します。英語は教科書改訂の影響もあり学習量が多く大変だと思えますが1年頑張りましょう！（中村）

高校入試の変わり目

前々から話が出ていましたが、新3年生の受験から、今までの受験の制度と大きく変わります。

変更点としては主に以下の通りです。

- ① マークシートが導入される
- ② 全員に面接が課される
- ③ 英検、生徒会活動などが点数に入らなくなる
- ④ 学校ごとに特色検査が実施される

④の特色検査とは、学校ごとに傾斜配点を設けたり、評定の点数を変更したりして、その学校にあった生徒を選抜する方式です。

少し前に、各高校でどのような選抜を行うのか、暫定的な方針が発表されたのですが、この特色検査を行う高校が一定数あります。

たとえば川越南高校は数学・英語の点数を2倍にして選抜を行います。川越南高校の英数は学校選択問題で難易度が高い問題が出されますので、数学・英語の学力がより試される入試になると思います。

所沢高校の場合も同様に、数学と英語の点数が2倍になります。また、ほかの高校と比べて評定の点数に重きを置いて選抜を行うことになりそうです。

今までの入試では、理数科や英語科以外では、傾斜配点が行われてきませんでした。今後の入試ではその傾向も変わって、普通科でも傾斜配点が行われるところが多くなりそうです。数学・英語などの重要度も高まり、一方で理社では点数が落とせない、という方向に変化していくのかもしれない。(大崎)